

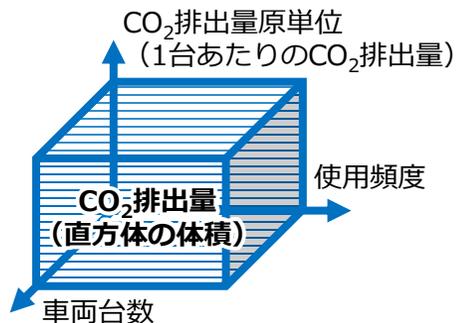
吹田市公用車脱炭素化方針の概要

目的

市が率先して、**公用車の使用の合理化**や**ゼロエミッション車（ZEV）の優先的な導入**を進め、**2050年までに公用車からの温室効果ガス排出量を可能な限り削減**することを目的とする。また、市の率先行動を通して、市民・事業者の**自動車に過度に依存しないライフスタイルへの転換**と**ZEVの普及**を促進することで、市域における**移動の脱炭素化**を図る。

公用車の脱炭素化の考え方

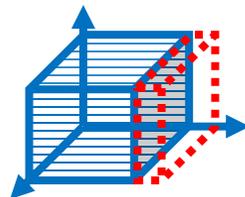
公用車の脱炭素化のための3つの要素



以下の3つの取組を並行して進めることで、効果的に公用車の脱炭素化を進めることができる

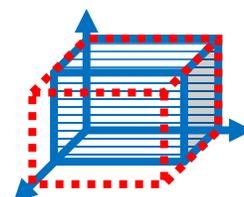
ワークスタイルの転換

公共交通機関や自転車などを利用することで、公用車の使用頻度を減らし、CO₂を削減



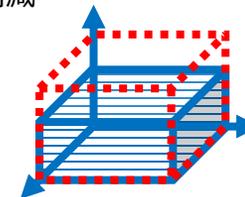
車両台数の削減

台数の最適化を図り、公用車の台数を減らし、CO₂を削減



ゼロエミッション車の導入

車両をゼロエミッション車にすることで、車両から排出されるCO₂を削減



さらに、**全ての職員が公用車の脱炭素化を自分事と捉えて積極的に取り組むことも重要**

対象

市が所有又は使用する全ての自動車

目標

乗用車のガソリン使用量を2023年度から5年間で2019年度比50%以上削減

※乗用車とは、乗車定員9人若しくは10人以下かつ車両総重量3.5t以下の普通自動車、小型自動車及び軽自動車（荷台付きのものを除く）

※特種用途自動車を除く

指標

2030年までに乗用車のZEV導入率35%以上

※特種用途自動車を除く

公用車の使用の合理化・導入の進め方

■ 使用の合理化

- **積極的に公共交通機関や自転車などを利用**し、公用車の使用を控えるよう努める
- 運行状況や業務内容などを考慮し、**適宜、台数の見直しなどの使用の合理化**を図る
- **エコドライブの実施**

■ 公用車の導入

- **乗用車はZEVの導入が基本**。使用用途などからZEVの導入ができない場合は、電動車、次世代自動車、エコカーの順で検討し、最低限エコカーを導入。
- **乗用車以外はエコカーの導入が基本**。使用用途などからエコカーの導入ができない場合は、環境性能を重視して車両を選定。

役割

- 全職員は、積極的に公共交通機関や自転車などを利用し、公用車の使用を控えるよう努めるとともに、公用車の運転時は**エコドライブ**を実施
- 公用車管理室課は、適宜、使用の合理化を図るとともに、積極的に**ZEVを導入**
- 環境部は、各室課に対する情報提供・助言などを実施。市の取組を通して、市民・事業者に対し、自動車に過度に依存しないライフスタイルへの転換とZEVの普及を促進。